

**消化器・肝臓疾患の専門医療を提供**

消化器・肝臓病センターでは肝臓病と胃腸の病気に対する高度専門医療を提供、地域のリーディングホスピタルを目指しております。  
開設以来取り組んできた高齢者医療と併せより良質な医療提供体制整備を推進しております。

**宮崎医療センター病院**

# 四季

題字 理事長自筆  
第51 新春号

MEDICAL CORP.  
**JOJINKAI**  
Hospital & Welfare Institute  
宮崎市高松町2番16号  
TEL:0985-26-2800  
FAX:0985-27-681

「乙未(きのとひつじ)の新春に思うこと」  
病院長 田畑 直一

あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては新たな決意で正月を迎えられたことと存じます。

昨年はアベノミクス一色の感がありました。が、経済の復活なしに国の元気がなしというのも一義だろうと思えます。政治の力、経済の力、結(ゆい)の力で1つでも多くの笑顔を増やして欲しいものです。当院も開設30周年という節目の1年でしたが、来し方を振り返りこれまでご支援頂いたたくさんの方々へ感謝するとともに、皮膚科の開設など新たな一歩を踏み出すことができました。

迎えての2015年は、団塊の世代800万人全てが高齢者となり、いよいよ超高齢化社会と云われる怒涛へのみ込まれていきます。社会保障費の急増に加え認知症・救急・多死など様々な難問が噴出してくるのが予想されます。私事ながら、昨年夏から在宅介護を体験することとなり、この問題の大きさと深さと重さを今更ながら実感しているところであります。同時に、これは若者の将来と表裏一体の問題でもあり、高齢者の安寧以上に、子供たちが生きていく将来のことを見据えることが大事だと思っています。希望の社会を残せる

かどうかはこれからの10年が勝負であり、私たち一人一人が必死に考えて行動することが必要です。当院に於いては、本年は循環器内科の復活による高齢者医療の充実や、新たな肝炎治療法による専門医療の提供などを通して、地域の方々へこれまで以上の貢献ができるものと考えています。

「私たちが求められているものは何か」ということを常に出发点と考え、医療機関や福祉施設、行政をはじめ様々な方々と連携をしながら、医療と介護の切れ目がなく、また老いも若きも希望を持てるような「まち創り」に参画してまいりたいと考えています。

平成27年乙未の年、職員一同力を合わせ皆様に貢献するという目標に向かって迷うことなく歩いてまいります。本年もよろしくお願いたします。

～新年のご挨拶～  
看護部長 黒木 和代

新年おめでとうございませう。多くの看護職員の方々には年末年始も勤務して頂き感謝申し上げます。

新年に当たり個人的な感想を申し上げます。昨年後期は煩雑な日常となり、当然のごとく年の終わりの感慨を持つ間もなく御用納めとなりました。その間にも、看護協会を取り巻く情勢は進化、現在、日本看護協会が推進している事業の「夜勤・交代制勤務の勤務編成基準の促進」や「ベンチマーク評価」看護



## 理念

○私たちは、自分が受けたい医療・看護・介護を提供します

## 基本方針

- 患者さまの権利と尊厳を大切にし、心のこもった医療・看護・介護を提供します
- 根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します
- 全職種による安全で質の高いチーム医療を行います
- 急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します
- 地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します
- お互いを信頼し、やりがいと誇りを持てる職場にします



宮崎医療センター病院

### 学会等参加実績 (10月～12月)

2/四半期の学会等参加者は、以下のとおりです。

- 第37回 日本高血圧学会総会  
齊田 光彦 (10月17～19日 神奈川県)
- JDDW2014 ～第22回 日本消化器関連学会週間～  
児玉 真由美、折田 圭大 (10月23～26日 兵庫県)
- 第18回 日本心血管内分泌代謝学会学術総会  
吉田 美帆 (11月21～22日 神奈川県)
- 第40回 日本肝臓学会東部会  
稲田 由紀子 (11月27～28 東京都)



★宮崎市一斉清掃

11月16日(日)に行われた宮崎市一斉清掃に参加して参りました！  
繁華街の中心部ということもあり、お酒の空き缶やゴミがたくさん落ちていました。  
朝方で寒かったですが、終わる頃には体はポカポカでした(^^)

### 掲示板

★循環器内科が開設されました★

診療科目

- 内科
- 消化器内科
- 消化器外科
- 循環器内科
- 皮膚科
- 整形外科
- リハビリテーション科

平成27年1月1日より「循環器内科」が診療科目として開設されました。当院の標榜診療科は7科で左記のとおりとなります。

### 大規模災害対処訓練

12月10～12日の3日間、わたって、大規模災害対処訓練が行われました。夜間当直体制時の大規模災害を想定した患者避難誘導、屋内消火栓・消火器を使った消火訓練、恵比寿自治会・宮崎東消防署との合同訓練等を行い、実際に大規模災害が起こった際に行動できるよう職員一人一人が真剣に訓練に臨んでいました。



循環器とは、どんな方が対象で、どんなことをするのか？

循環器とは、全身の血管と心臓のことをさします。循環器科は、高血圧や心臓疾患、動脈硬化、コレステロールが高い方、成人病など心臓の病気や血圧・血管の病気の方が主に対象となります。日本人の死因の1/3は血管系の病気(心臓疾患、脳血管疾患)が原因です。「歩くとき動悸や息切れする」、「検診で心雑音を指摘された」、あるいは血管の動脈硬化が気になるという方は、一度検査をおすすめします。

### 患者様の権利

- 患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります
  - 患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります
  - 患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
  - 患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります
  - 患者様は、プライバシーを尊重される権利があります
- 宮崎医療センター病院では、上記に基づき患者様の権利を尊重して医療を行なっております。

宮崎医療センター病院

「を」を変える！労働と看護の質向上のための「データベース事業」などに対する考えのまとめは、年越しとなりました。

データベース事業とは、その頭の英字を繋いでDINQと言いい、「看護の質の向上」「看護職が働き続けられる環境づくり」「ニーズに応える看護領域の開発・展開」を3つの柱として展開する事業のことで、昨年は、全国約300の病院が参加して急性期病床におけるベンチマーク作成が進行しました。

評価指標は「一三四項目・八つのカテゴリーで構成されており、一看護の質の向上」については、看護実践をドナベディアン」の看護の質の評価の枠組み（構造・過程・結果）を用いてデータ化し、「看護を可視化」することで看護（医療）の質の変化（向上・維持・低迷）を数字で把握できるようにするというものです。本院は、来年、医療機能評価の更新審査予定ですが、症状トレース型評価においては医療看護が可視できることが審査指標となっており、データベース事業を注視しながらの準備を要すると考えます。また、「夜勤交代制勤務の勤務編成基準の促進」は「働き続けられる環境づくり」にも通じる事業で、日本看護協会は「勤務編成の基準一項目」を提案し改善を指導しています。本院では、一六時間の長時間夜勤体制が課題といえます。

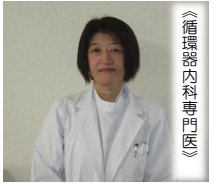
一方、医薬収入も社会保障政策下での本院の経済性維持を考えますと、政策に対応した組織機能の考案が必要で、外部因子・内部因子に對峙し、看護部機能を構築することも課題と考えます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

★人事★

■医師の入職

(平成27年1月1日付)



《循環器内科専門医》

- 【名前】 矢野 理子
- 【出身】 (ヤノ ミチコ)
- 【出身】 宮崎県
- 【出身】 長崎大学
- 【抱負】 一元気に前向きに頑張ります！

《創立30周年記念式典・祝賀会》

12月12日(金)に、MR T m i c c d a i ヤモンドホールにて30周年記念式典・祝賀会が開催されました。式典の中で病院長より10年以上にわたって病院を支えられた55名の職員1人1人に対して表彰が行われました。表彰者の中には、四半世紀にもわたり病院を支え、歴史を作った方々もいました。病院長より、「この激変の時代に、皆さんのご尽力により、この病院に集い、より良い病院にしようと懸命に努力してきた結果として今の私達があります。これまで病院を支えてきてくれた皆さんの方々に思い出し感謝して、また今年1年間の労をお互いにねぎ

★小学生が病院見学に来られました★

12月4日(木)に、小学校の6年生12名が、病院見学に来られました。訪問看護・訪問看護・居宅介護支援・リハビリテーションセンター・介護療養病棟を見学し、事業所の説明や利用者の方のふれあいを通じて有意義な時間となりました。

《リハセンター》

《訪問看護》

《介護療養病棟》

で、今年も医師の方々为主体となつて出し物を披露してもらい、会場は大変盛り上がりました。また来年が楽しみですね！(渉外企画課 井上)

らいながら共に過ごしたいと思えます。おおいに楽しみましょう！一言の言葉が述べられ祝賀会が始まりました。祝賀会では日頃、なかなか顔合わせることが少ない他部署のスタッフ同士が交流できる非常に貴重な時間になり、賑やかに過ごすことが出来ました。そして、今年も医師の方々为主体となつて出し物を披露してもらい、会場は大変盛り上がりました。また来年が楽しみですね！(渉外企画課 井上)

【とっても簡単！焼き餅茶漬け】

《栄養科》  
副科長 黒木 典子

お正月で残ったお餅を使って、とっても簡単にできる焼き餅茶漬けはいかがでしょう？

ごはんの上にこんがり焼いたお餅をのせて、塩を適量ふりお茶をかけるだけ(^.^)お茶漬けのりをふりかけてもよいでしょう！

スナック菓子を食べるより、だんぜん良いですよ(^.^)ぜひ一度お試しあれ!!!

【用意するもの】  
砂糖・・・90g しょうゆ・・・70g  
お酢・・・60g  
3つを全てよく混ぜて出来上がり♪  
2～3回分はあるので、冷蔵庫にストックしておくくと便利です。  
鶏肉だけでなく、魚にかけても美味しいですよ！

《AB4病棟》  
副部長 加治屋 志穂子

AB4病棟は、平成24年10月1日に介護療養病棟より医療療養病棟へ転換し、医療保険適応の病床となりました。病床数は60床あります。

対象の患者様は、慢性疾患を有する認知症高齢者がほとんどです。疾患のコントロールに加え、高齢者の暮らしを整える介護及び身体機能強化を図るリハビリテーションが求められており、病棟では看護・介護を中心に多職種で協同する事を心掛けています。

私達は、患者様の症状が落ち着いた後も自立して暮らせる力を維持できるように、アクティブに力を入れ、スタッフも楽しく笑えるサービスを用意し、食堂で実施しています。

様々な理由により、在宅での療養が難しくなった患者様にとって、第二の自宅のような気分で過ごして頂ければと思います、患者様と接する努力をしています。

《訪問看護》  
副部長 甲田 真里子

訪問看護事業部門として一みやぎ訪問看護ステーションがあります。訪問看護とは、障がいを持った人が住み慣れた地域やご家庭でその人らしい療養生活を送れるように、看護師等が生活の場に訪問し、看護ケアを提供する一自立と療養生活を支援する「サービス」です。

クリスマス会

12月はクリスマスということで、各病棟、通所リハビリテーションなどでクリスマス会を行いました。スタッフはクリスマスケーキを盛り上げ、歌やお話しを楽しみました！スタッフにとっては利用者さん達の笑顔が最高のクリスマスプレゼントでした(^.^)

最近では認知症の高齢者、人工呼吸器等高度な医療が必要な方、がん末期の方が増えてきており、在宅での看取りに関わることで私達も沢山勉強させていただいています。

国は2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その中で医療と介護をつなぐ役割として、訪問看護ステーションは今後重要な要素になると考えられています。当事業所は現在、看護師10名、理学療法士2名が在籍しており、赤やんからお年寄りまで年齢にかかわらず約70～80名の方々にサービスを提供し、約40の医療機関、50名の先生方と連携し、24時間365日体制でサポートしています。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

《訪問看護スタッフ》